

杉並第一小学校の改築に向けた取組について

杉並第一小学校の改築について、以下のとおり改築基本計画を策定し、今後の取組を進めることとしましたので報告します。

1 改築基本計画の概要

(1) これまでの経過

改築基本計画（別紙1）の根幹となる改築基本方針（別紙2）の策定にあたり、学校関係者、児童、地域の声を反映させるため、杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会（以下「懇談会」という。）を立ち上げ検討を行った。検討に当たっては、②から④の取組を行い、寄せられた区民意見等を参考とした。

①杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会

学識経験者2名、学校長及び副校長3名、学校運営協議会4名、学校支援本部1名、PTA3名、町会4名、商店会1名、震災救援所1名、学童クラブ1名の20名で構成。

	内 容	開催日
第1回	小学校の特色・概要、改築に至る経緯の説明	4月19日
第2回	事例見学（桃井第二小学校、杉並第二小学校）	5月28日・6月3日
第3回	改築基本方針（たたき台）の検討	6月26日
第4回	改築基本方針（最終案）検討と改築規模等の説明	8月5日

②あさがやまちづくりセッション（テーマ：杉一小）

広報すぎなみでの公募と、阿佐谷地域在住者の中から無作為抽出した1,000名への案内状送付により申込のあった24名が参加し、「児童・保護者の視点にたって考える新しい杉一小」、「地域とのつながりの視点で考える新しい杉一小」をテーマにワークショップを実施。

③杉並第一小学校 在校生アンケート

杉並第一小学校の改築にあたり、「楽しい学校づくり」を主題とし、「杉一小のどんなところが好きか」、「どんなときに楽しいと思うか」、「自分が学校を作るとしたらどんな学校にするか」について全児童315名を対象に自由記述によるアンケート調査を実施。

④杉並第一小学校 教職員アンケート

杉並第一小学校の改築にあたり、「杉一小の良さ、誇れるところ、改築後にも残していきたいところ」、「改築後の学校に求めること」について、教職員を対象に自由記述によるアンケート調査を実施。

(2) 改築基本方針

改築基本方針

「子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小」

○ビジョン1

豊かな教育環境を目指し、子どもたち一人ひとりが輝ける、安全で安心な学び舎をつくる。

○ビジョン2

災害に強く、防災の要となり、持続可能な自然環境に配慮した施設とする。

○ビジョン3

世代を超えて多様な区民が出会い、自発的で協働的な関係が広がる学びを創造できる場にする。

(3) 施設規模

- 学級数は、現在、12学級であるが、当面の間、児童数は増加傾向が予想され、直近の過去10年間で12～15教室で推移していることから、新校舎は15教室を整備する。
- 建物面積については、杉並区立学校施設整備計画に定める標準建物面積を基本としつつ、移転用地の形状・面積や学びのプラットフォームといった取組等に要する諸室を考慮して、今後の設計の中で精査する。

(4) 用地

地 番 阿佐谷北一丁目 909-1 他
敷地面積 約 6,815 m² (学校敷地として)
用途地域 近隣商業地域 (建ぺい率 80%、容積率 300%)
 第一種中高層住居専用地域 (建ぺい率 60%、容積率 300%)
現 況 社会医療法人 河北医療財団 河北総合病院
 ※令和7年4月移転の後、解体撤去予定

2 その他

- 設計事業者の選定は、改築基本方針の具体化や、工期の順守、短縮等について評価することが適切であることから、公募型プロポーザル方式により実施する。
- 基本設計、実施設計にあたっては、本改築基本計画を踏まえるとともに、引き続き学校関係者、保護者等の意見・要望を可能な限り反映する。
- 学童クラブについては、学校内に併設することを前提としつつ、現在策定中の「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」との齟齬が生じた際には、改めて検討する。

3 今後のスケジュール (予定)

令和6年	9月	設計事業者の公募開始
	12月	設計事業者の選定、基本設計着手
令和7年度		実施設計 (～令和8年度まで)
令和8年度		新校舎建設着工 (環境整備工事含む)
令和10年度		新校舎建設竣工
令和11年	4月	移転、新校舎運営開始

杉並区立杉並第一小学校改築基本計画

令和6年9月

教育委員会事務局 学校整備課

目 次

1.	改築基本計画の策定について	1
2.	杉並第一小学校改築に向けたこれまでの取組	2
3.	杉並第一小学校.....	3
4.	移転用地について	5
5.	改築基本方針について	8
6.	改築基本方針の検討プロセス	11
7.	改築基本方針と整備の要点.....	16
8.	学校規模について	18
9.	改築のスケジュール（予定）	19

1. 改築基本計画の策定について

明治8年に開校し、今年度、創立149周年を迎えた杉並第一小学校は、長い歴史と伝統を持ち、地域の教育力を組織化した学校支援本部との協働による特色ある教育活動が全国的にも高く評価されている学校です。

一方で、昭和32年から順次鉄筋コンクリート造に建て替えられた既存校舎も、現在築66年を経過しつつあり、老朽化に伴う改築時期を迎えています。

当初、区では、平成26年3月に「区立施設再編整備計画（第一期）（平成26年～33年度）・第一次実施プラン（平成26年～30年度）」を策定し、杉並第一小学校等複合施設として、その第一次実施プランの具体的な取組の一つとして計画化し、阿佐谷地域に存在し、学校と同様に老朽化等の課題がある阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の集会関連機能を集約することを基本に、学校の老朽改築に合わせて移転・複合化による整備を図ることとしました。

しかし、平成28年に、近隣の総合病院とけやき屋敷の地権者から、病院のけやき屋敷への移転改築の意向が区に示され、当該計画と合わせた道路基盤整備等に区が参画し、杉並第一小学校を総合病院跡地周辺地に移転改築することで、将来に向けた教育環境の向上、首都直下地震発生の切迫性を踏まえた地域の防災性の向上及び土地利用の見直しによる民間と連携したにぎわいの創出などを総合的に考慮し、平成29年5月に「杉並第一小学校等施設整備等方針」を策定し、土地区画整理事業に含め、必要な認可や地区計画の都市計画決定などを行っていく運びとなりました。

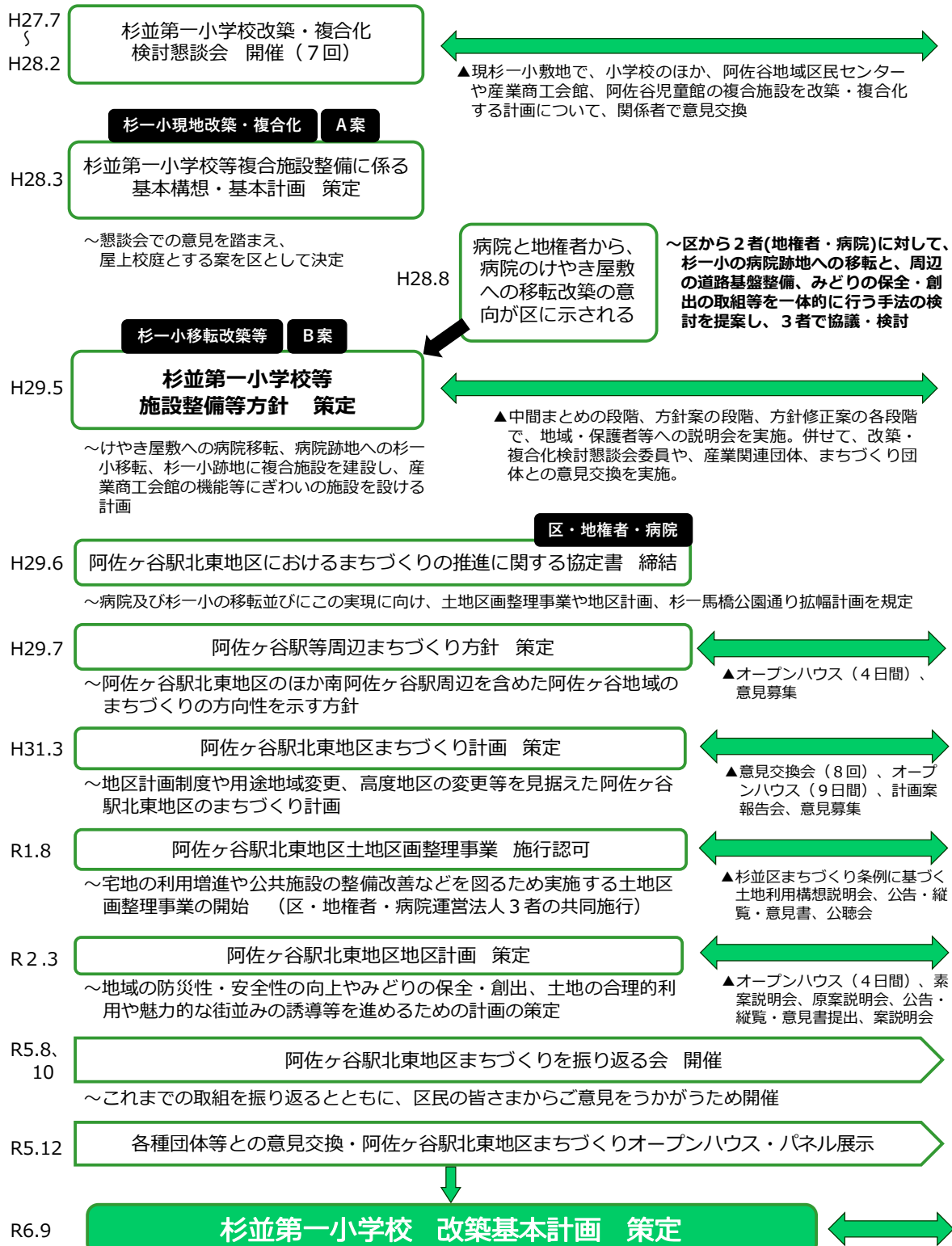
その後、区は「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」を策定し、8回の意見交換会、4回のオープンハウスを開催し、地域の方々の意見を伺い反映させ、平成31年3月に、方針を踏まえた具体の計画である「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」を策定しました。

また、令和元年から、都市計画法やまちづくり条例に基づく説明会等の手続きを経て、阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画等の都市計画決定をするとともに、土地区画整理事業の施行認可を取得して仮換地指定を行い、区民の意見を伺いながら丁寧に事業を進めてきました。

現在、総合病院の移転改築工事が進んでいることから、区も杉並第一小学校移転改築の設計を開始するため、学校関係者等で構成する杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を立ち上げるとともに、あさがやまちづくりセッション(テーマ:杉一小)を開催し、また、在校生や教職員のアンケート調査を実施するなどして、幅広い地域の声を伺って基本方針を策定しました。

今後、この基本方針を根幹に、基本・実施設計を進めるにあたり、規模や工事の概要を明らかにするため、「杉並区立杉並第一小学校改築基本計画」を策定して取りまとめました。

2. 杉並第一小学校改築に向けたこれまでの取組



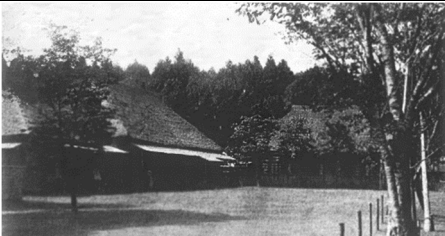



3. 杉並第一小学校

(1) 現 況

- ◆ 所在地 杉並区阿佐谷北1丁目5番27号
- ◆ 敷地面積 5,432.18 m²
- ◆ 延床面積 4,280 m² (運動場有効面積 約 1,800 m²)

J R中央線「阿佐ヶ谷駅」から北東約100mに位置し、駅前の商業施設と近接した場所に立地しています。学校正門は、ケヤキ並木がある中杉通りに面し、敷地周辺には、北側に社寺地があるなど、駅周辺にもかかわらず緑豊かな環境を形成しています。

(2) 杉並第一小学校の沿革

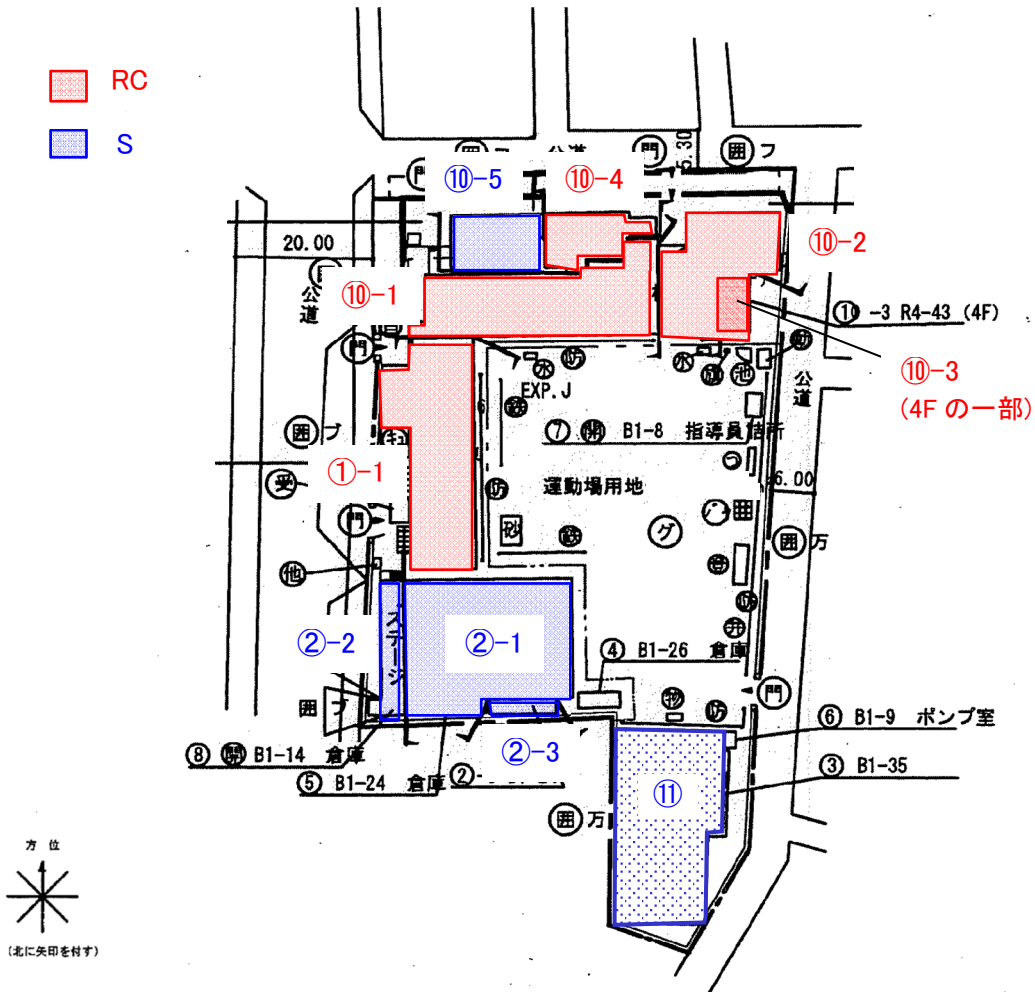
年 表	
<p>明治 8 年 第一大学区東京府管内第三中学区第九番公立^{とうえん}桃園学校第一番分校として、馬橋清見寺を仮校舎に充てて開設。 児童数 55名</p>	
<p>明治 9 年 独立して^{とうや}桃野小学校となった。(創立)</p>	
<p>明治 17 年 現在地に新校舎を建築し移転。 児童数 122名</p>	
<p>明治 35 年 ^{とうや}桃野尋常高等小学校と改称。 児童数 1,959名</p>	
<p>昭和 13 年 杉並第一尋常小学校となった。 児童数 1,008名</p>	
<p>昭和 22 年 杉並区立杉並第一小学校と改称。</p>	
<p>昭和 32 年 RC造化への改築工事開始され、現西校舎3階建てから順次改築し、昭和40年にプールを整備し完成。</p>	
<p>昭和 50 年 創立100周年を迎え、記念碑建立。 児童数 690名</p>	
<p>平成 23 年 耐震補強工事完了。</p>	
<p>令和 6 年 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を設置。 児童数 315名</p>	

※ 出典：杉並第一小学校九十周年記念誌(発行：杉並第一小学校)

創立八十周年記念誌(発行：杉並第一小学校創立八十周年記念事業協賛会)

(3) 既存校舎の規模と整備時期




棟番号	名称	構造・階数	建設年度	延床面積(m ²)
①-1	校舎	RC造・3階	昭和32年度	1,166
②-1	屋内運動場	RS造・1階	昭和36年度	455
②-2	屋内運動場	RS造・1階	昭和53年度	65
②-3	屋内運動場	RS造・1階	昭和53年度	24
⑩-1	校舎	RC造・4階	昭和35年度	1,451
⑩-2	校舎	RC造・4階	昭和36年度	806
⑩-3	校舎	RC造・1階	昭和45年度	43
⑩-4	校舎	RC造・1階	平成5年度	33
⑩-5	校舎	S造・1階	令和3年度	95
⑪	プール(屋外)	S造・1階	昭和40年度	-



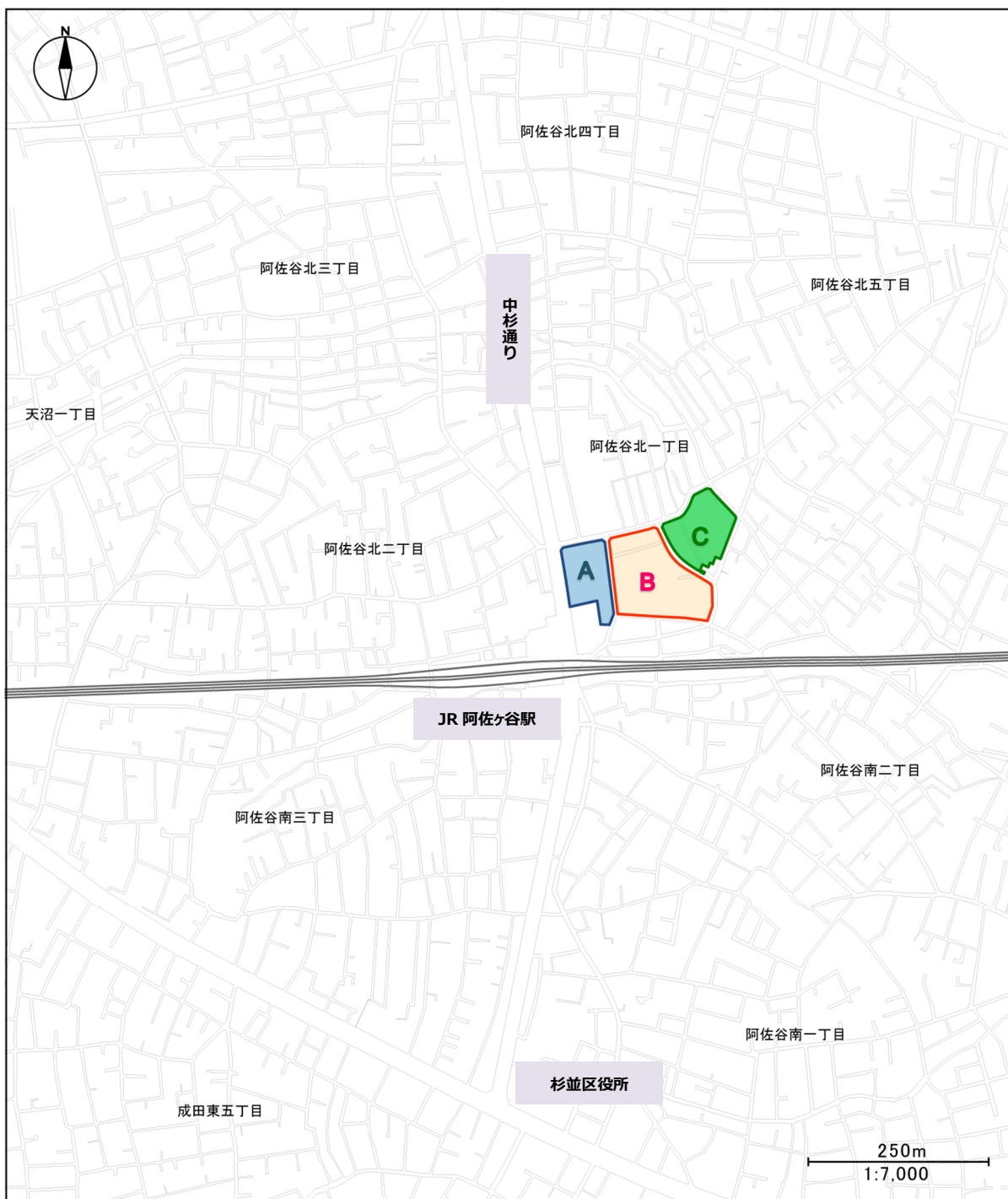
4. 移転用地について

(1) 新街区

移転改築は、阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業等における区域変更、道路拡幅や新設・廃止等と合わせて行われ、街区形状が変わるため、右凡例のとおり計画街区をA～Cに3分割して図示します。

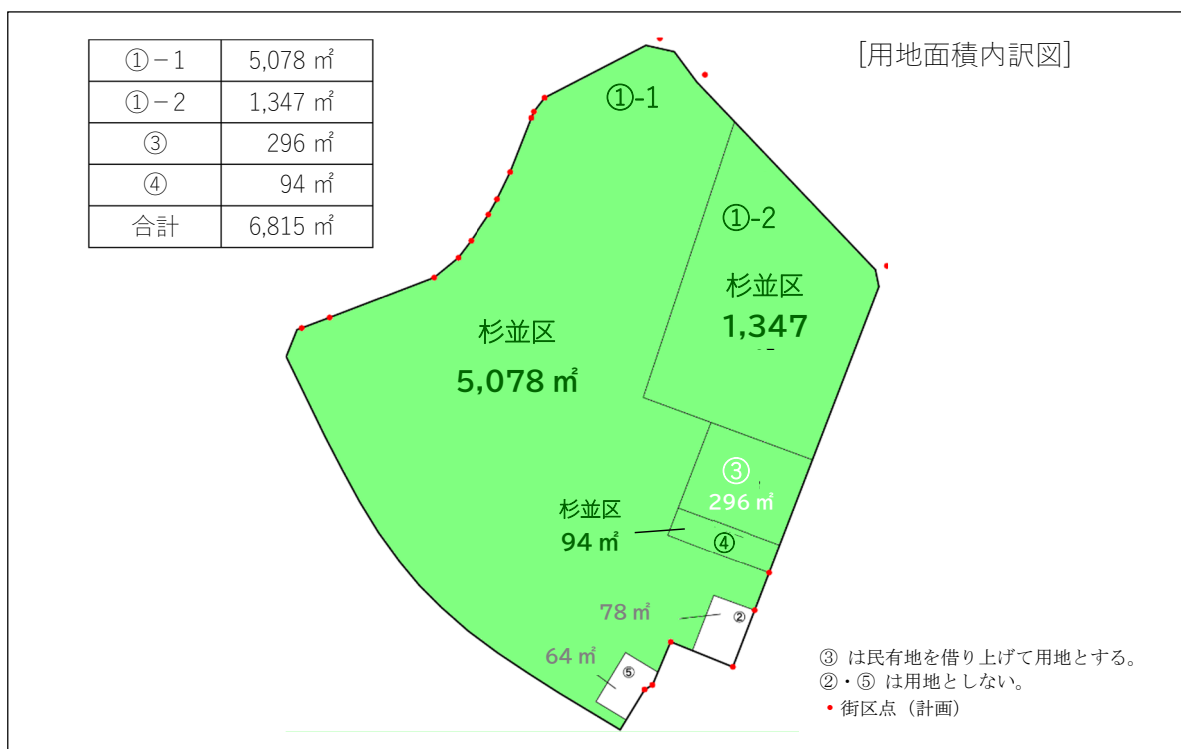
- | | |
|---|-------------------------------|
|  | A 街区 現在の杉並第一小学校を含む新街区 |
|  | C 街区 移転後の杉並第一小学校を含む新街区 |
|  | B 街区 移転後の総合病院を含む新街区 |

(2) 案内図

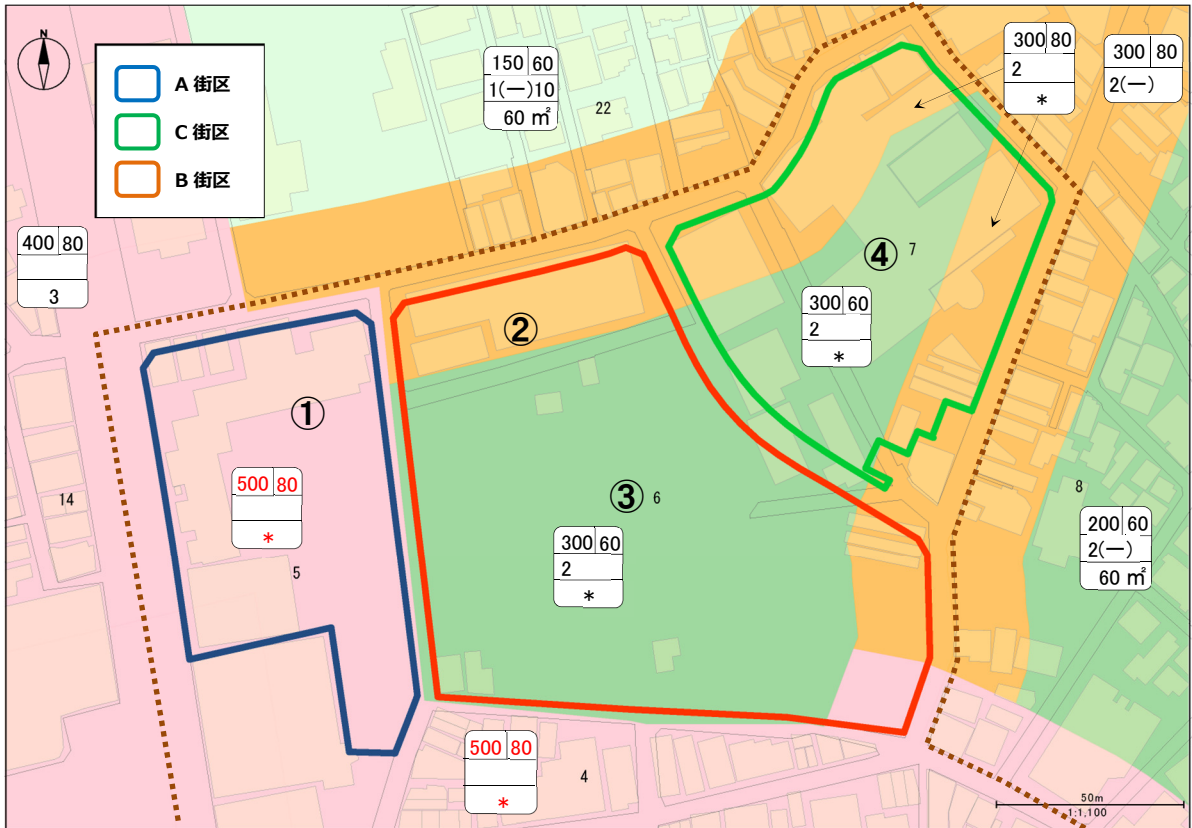


(3) 移転用地 ※C街区内

- ◆ 所在地 杉並区阿佐谷北一丁目7番（住居表示予定）
杉並区阿佐谷北一丁目909-1 他（地番）
- ◆ 用地面積 6,815 m²（予定）



(4) 都市計画情報 (用途地域)

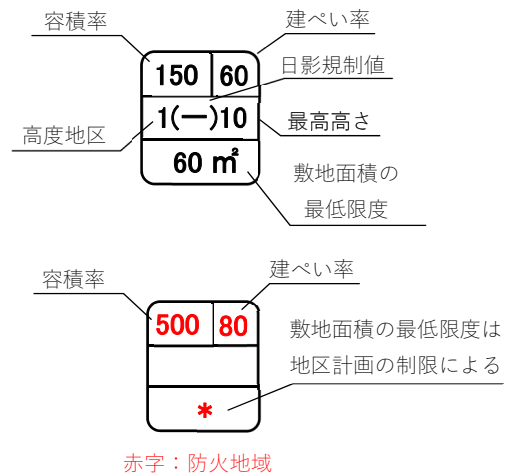


【令和3年地区：C街区は学校用地に合わせて表記、歩道状空地部含む】

	用途地域 (東京都決定)	建ぺい率	容積率	敷地面積の 最低限度	高度地区	防火地域及び 準防火地域
①	商業地域	80%	500%	—	—	防火
②	近隣商業地域	80%	300%	—	第2種	準防火
③	第一種中高層 住居専用地域	60%	300%	60㎡	第2種	準防火
④	第一種中高層 住居専用地域	60%	300%	60㎡	第2種	準防火

【凡例】

- 第一種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 近隣商業地域
- 商業地域



赤字：防火地域

5. 改築基本方針について

(1) 改築基本方針

子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小

(2) 改築基本方針のビジョン・目標・取組

① ビジョン1

豊かな教育環境を目指し、子どもたち一人ひとりが輝ける、安全で安心な学び舎をつくる。

目標1 子どもたちが自ら考え判断する力を伸ばし、進んで学び、充実して過ごすことができる学習環境を整備する。

【取組】

- ・ 全ての子どもたちが学び合い、可能性を引き出す個別最適、協働的な学びとなる多様な学びのスタイルに適応できる施設とする。
- ・ 学校図書館や理科室等の特別教室を、子どもたちの好奇心を刺激する造りにする。
- ・ ICT教育環境の充実と、円滑な授業運営に対応できる基盤を整備する。

目標2 自他を尊重し、あたたかく人間性豊かで、多様な体験を子どもたちに提供できる教育環境を整備する。

【取組】

- ・ 学年を超えた交流ができ、地域の力を活かした杉一小らしい、学びと憩いの空間を設ける。
- ・ 光、風、緑を感じ、木の温かみを実感できる造りとする。
- ・ 多文化共生とユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ・ 命の尊さを伝え、自然観察にも繋がる動植物と触れ合える場を拡充する。
- ・ 歴史と伝統に相応しい、杉一小の顔となる場を設ける。

目標3 子どもたちが明るく活発に、のびのびと心と体の健康づくりに主体的に取り組めるような活動の場を整備する。

【取組】

- ・ 防塵機能を備えた、広く良好な環境の校庭整備を行うなど、子どもたちがのびのびと運動し、羽を伸ばせる空間を設ける。
- ・ ジュニアバンド等の活発な音楽活動や資機材の運用にも耐えうる、防音に対応した十分なスペースを設ける。
- ・ 思い切り体を動かして利用できる遊具を充実させる。
- ・ 更衣室やロッカー等、子どもたちの自立につながる空間や環境を整備する。

目標4 安全に配慮し、高いセキュリティーを備え、子どもたちや教職員が安心して快適に過ごせる環境を整備する。

【取組】

- ・ 子どもたちを守る防犯カメラ等の安全設備を設け、充実したセキュリティーを備える。
- ・ 諸室の配置や造り、収納スペースの充実は、教職員の働きやすさも考慮する。
- ・ 冷水機や簡易に腰掛けられる場所等を要所に設けるとともに、リラックスできる環境を整備する。
- ・ 緑豊かで安心して通れる歩行者空間を整備する。

② ビジョン2

災害に強く、防災の要となり、持続可能な自然環境にも配慮した施設とする。

目標5 自然災害に備えた堅牢で安全な場を確保し、防災拠点としての機能が十分に発揮される施設とする。

【取組】

- ・ 子どもたちと地域の防災教育と意識向上に活かせる施設とする。
- ・ 発災時に迅速かつ安全に避難できる施設とする。
- ・ 防災井戸やマンホールトイレを備える等、震災救援所として必要な整備をする。
- ・ 浸水被害を抑止し、防災拠点として、地域との連携が速やかに行える施設とする。
- ・ 校内に必要な備蓄品を確保する。

目標6 自然に配慮し、周辺地域と調和した、環境にやさしい施設と設備とする。

【取組】

- ・ ZEB 化やエコスクール等にも対応し、環境教育にも配慮した施設とする。
- ・ 景観と調和し、花と緑を楽しめる空間を整備する。
- ・ 自然環境との調和に配慮し、武蔵野の屋敷林の面影が残る、自然教育に適した場を創出する。
- ・ 周辺地域の住環境に配慮した施設とする。

③ ビジョン3

世代を超えて多様な区民が出会い、自発的で協働的な関係が広がる学びを創造できる場にする。

目標7 地域と共に歩んできた伝統と特色を継承し、子どもを真ん中に地域とのかかわりを広げ、次代を創る学びに柔軟に対応できる、持続可能な造りとする。

【取組】

- ・ 学校を支える地域の関わりと、活動支援の促進を図るため、関係諸室を充実させる。
- ・ 地域が子どもたちと共に歩き支える すぎっ子くらぶや放課後の居場所となる場を整備する。
- ・ 児童数や教育カリキュラム等、将来の変化に対応できる柔軟性を確保する。
- ・ 文学と文化が息づく阿佐谷のまちと調和した学び舎とする。

目標8 多様な施設・設備を活用し、賑わいのあるまちと共生し、多世代が学び合える施設とする。

【取組】

- ・ 子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存できるよう、子どもたちの活動に支障をきたさない諸室配置と動線確保を行う。
- ・ 駅に近い利便性を活かして、多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設計画とする。
- ・ 阿佐谷ジャズストリート等、イベントで利用できる、地域に開かれた施設とする。

6. 改築基本方針の検討プロセス

杉並第一小学校の移転改築の基本となる改築基本方針は、学校関係者、地域関係者等で構成する懇談会を立ち上げ検討を行いました。検討に当たっては、あさがやまちづくりセッション(テーマ:杉一小)や、子ども達や教職員へのアンケートを行い、寄せられた意見等を参考としました。

また、今後、基本設計を進めていく際も、同様にして進めていく予定です。



(1) 杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会

(※以下、「懇談会」という。)

① 目的

杉並第一小学校の改築に当たり、校舎改築における基本的な方針に関すること、校舎改築の基本設計に反映する必要な事項に関することについて、広く意見を聴くこと。

② 委員名簿

団体名等	氏名	団体名等	氏名
首都大学東京 名誉教授	深尾 精一	学校運営協議会	岡田 円治
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授	高口 洋人	学校運営協議会	竹越 不可止
震災救援所	近藤 浩	学校運営協議会	松尾 純一
阿佐谷地区町会連合会	田中 昭一	杉並第一小学校 P T A	遠藤 美穂子
阿佐谷北一丁目町会	宇都野 正朔	杉並第一小学校 P T A	長谷川 篤男
阿佐谷北二丁目町会	佐藤 文夫	杉並第一小学校 P T A	武田 幸彦
阿佐谷北三丁目町会	徳田 紀美子	学童クラブ保護者	松嶋 彩
進交会	細田 宗宏	校長	山口 祐美子
学校支援本部	伴野 博美	副校長	杉田 英昭
学校運営協議会	村上 徹也	副校長	小島 昭博

※ 青少年委員については空位

③ 区事務局

教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長	都市整備部 まちづくり担当部長
教育委員会事務局 学校整備課長	都市整備部 拠点整備担当課長
教育委員会事務局 学校整備担当課長	危機管理室 防災課長
教育委員会事務局 学校支援課長	子ども家庭部 学童クラブ整備担当課長
教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画推進担当係長	都市整備部 市街地整備課 拠点整備係長
教育委員会事務局 学校支援課 新しい学校づくり担当係長	子ども家庭部 児童青少年課 計画調整担当係長

④ 懇談会の開催状況と今後のスケジュール

※ 第5回以降は今後の予定

No	内 容	日程等(予定含む)
1	第1回懇談会 開催 ※ 小学校の特色・概要、改築に至る経緯の説明	4月19日(金)
2	第2回懇談会 開催 ※ 事例見学(桃井第二小学校、杉並第二小学校)	5月28日(火) 6月3日(月)
3	第3回懇談会 開催 ※ 基本方針(たたき台)の検討	6月26日(水)
4	第4回懇談会 開催 ※ 基本方針(最終案)検討と改築規模等の説明	8月5日(月)
5	第5回 設計受託者の資料提示と説明 ※ 設計者平面計画等(たたき台)の提示・説明	令和7年 1月
6	第6回 配置・平面計画(1)の検討 ※ 平面計画等(たたき台)について	令和7年 2月
7	第7回 配置・平面計画(2)の検討 ※ 設計者平面計画等(案)について	令和7年 3月
8	第8回 配置・平面計画(3)の検討 ※ 設計者平面計画等(最終案)について	令和7年 5月
9	第9回 基本設計(案)の策定	令和7年 6月

⑤ 詳細資料

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/1026695/sugiichi/1094174.html>



(2) 子どもの声アンケート調査

① 目的

- ・ 杉並第一小学校の子ども達が求める学校像について、幅広く意見や声を集め、改築基本方針に取り込み、事業者選定時に設計事業者があらかじめ提案内容に反映させる基礎資料とするため。
- ・ 杉並第一小学校改築の設計を行う際に、子ども達が抱く学校の姿について適切に把握し、反映させて資料とするため。
- ・ アンケート結果を広く共有し、今後の学校運営等の改善の取り組みに際し、子ども達が求める考えを把握し、適切に適用していく際の資料とするため。

② 調査対象

杉並区立杉並第一小学校全児童 315名

③ 調査期間

令和6年7月1日～7月10日

④ 調査方法

小学校1・2年生は口頭による聞き取りとし、3～6年生は、児童1人1台専用タブレット端末等による自由記述によるアンケート調査。

⑤ 調査内容

「楽しい学校づくり」を主題とし、「杉一小のどんなところが好きか」、「どんなときに楽しいと思うか」、「自分が学校を作るとしたらどんな学校にするか」について意見を集めました。

⑥ 調査結果について

「杉並区立杉並第一小学校 在校生アンケート集計結果」として取りまとめ、第4回懇談会にて資料提示するとともに改築基本方針に反映させ、今後、プロポーザル方式による事業者選定に際し、学校像をイメージする資料として、参加申し込み事業者に提示します。

⑦ 詳細資料

https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/094/174/dai4_siryou2.pdf



(3) 教職員アンケート調査

① 目的

杉並第一小学校の教職員意見を幅広く集め、改築基本方針に取り込み、事業者選定時に設計事業者があらかじめ提案内容に反映させるための基礎資料とするため。

② 調査対象

杉並区立杉並第一小学校 全教職員

③ 調査期間

令和6年7月5日～7月23日

④ 調査方法

LoGo フォームにて自由記述によるアンケート調査。

⑤ 調査結果について

「杉並区立杉並第一小学校 教職員アンケート集計結果」として取りまとめ、第4回懇談会にて資料提示するとともに改築基本方針に反映させ、今後、プロポーザル方式による事業者選定に際し、学校像をイメージする資料として、参加申し込み事業者に提示します。

⑥ 詳細資料

https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/094/174/dai4_siryoushi.pdf



(4) あさがやまちづくりセッション（テーマ：杉一小）

① 目的

阿佐谷に住む方達の、様々な「もっとこうなったら良いのに」との思いを汲み取り、阿佐谷のまちの課題や将来像について話し合い、共有・協働する場として開催し、将来的には、いただいた意見を踏まえ、「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」の改訂の検討や、まちづくり協議会の開催など新たな取り組みを進め、具体化の検討を図るため。

② あさがやまちづくりセッションの概要

(ア) テーマ自由型

様々なテーマに関する意見交換を行い、それらいただいた意見を踏まえ、「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針（平成29年策定）」の改訂の検討や、具体化などの検討を図っていきます。

(イ) テーマ指定型

杉並第一小学校の移転改築(あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小))や、杉並第一小学校跡地活用、阿佐ヶ谷駅北東地区で地域の皆様が取り組んでいるエリアマネジメントについても、あさがやまちづくりセッションが並走・伴走しながら進めていきます。

※ 本章では、③以降は「あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小)」について記載します。

③ セッション参加者について

広報すぎなみによる公募と、阿佐谷地域在住の方の中から無作為抽出した 1000 名に案内状を送付し、申込のあった方を対象としました。

④ 実施期間等

令和 6 年 6 月 9 日（日）杉並区役所第 5・6 会議室にて開催 参加者数：24 人

⑤ 実施内容

テーマ 1 として「児童・保護者の視点にたって考える新しい杉一小」、テーマ 2 として「地域とのつながりの視点で考える新しい杉一小」についてワークショップを実施。

⑥ セッションの結果について

「杉並第一小学校の移転改築に寄せられた提案等」に含め、第 3 回懇談会にて資料提示するとともに、改築基本方針に反映させました。

⑦ 詳細資料

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/machi/machidukuri/asagayaeki/session/index.html>



(5) 地域の声（阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会）

令和 6 年 6 月 18 日付けで、阿佐ヶ谷駅北東地区エリアマネジメント推進懇談会より要望が提出されたため、懇談会において提示し改築基本方針の検討の参考としました。

① 詳細資料

http://www.asagaya-mura.com/sub_p/pdf/youbousyo.pdf



7. 改築基本方針と整備の要点

(1) 測量及び地盤調査

現在、総合病院が残置・運営されています。今後、9. 改築のスケジュールの①の進捗に合わせて調整し、測量と地盤調査を実施します。

(2) 工事車両通路の確保

現在、A街区北道路面には道路と並行して工事車両用通路を設け、地区内の工事で運用しています。移転改築工事に際しては、B街区北側にも専用通路を設け、道路交通や周辺地域の安全に配慮した施工を行う予定です。

(3) 学びのプラットフォームにおける諸室等整備について

① 学校教育事業

杉並区立学校施設整備計画に準拠しつつ、杉並区教育ビジョン2022と前述の基本方針を具現化した地域と共にある学校施設整備を行います。

② 放課後の子どもの居場所等の事業

杉並第一小学校の全児童を対象に、学校教育事業外における居場所づくりに配慮し、上記①に加えた整備を行います。

③ 学童クラブ

杉並第一小学校を主な対応校とする阿佐谷学童クラブについては、現在、けやき公園プール跡地に移転改築した阿佐谷地域区民センター内の阿佐谷児童館で実施されています。

近年、安全面などを考慮し、学校改築時に学童クラブを併設しているため、杉並第一小学校の改築にあたっては、校内に学童クラブを整備する計画とし、400㎡程度の規模とします。

なお、現在、学童クラブを含む区の子どもの居場所づくりの指針となる「杉並区子どもの居場所づくり基本方針」の策定に取り組んでいるため、この検討結果に柔軟に対応できるよう、設計を進めるものとします。

④ 学校支援本部諸室

杉並第一小学校は、学校に寄り添った地域の方やPTAを含めた学校支援（すぎっ子くらぶ等）が行われ、30年近い歴史を有する学校です。

当該事業に関連し、文部科学省からも表彰された実績があり、今後も当校の特色の一つとして運営が続く見込みであるとともに、学びのプラットフォームの推進に際し不可欠な地域住民や保護者の活動拠点等について、十分な整備を行うことを目指します。

⑤ 学校開放等の事業

学校教育上、支障のない範囲での施設利用にあたり、児童、教職員に影響が出ることがない施設整備を行います。なお、これに際しては、児童・教職員の利用スペースを圧迫しないことを原則とします。

(4) ZEB化とエコスクール

政府実行計画や全国知事会における脱炭素・地球温暖化対策行動宣言など、近年、ZEB化の取組が拡大していることから、区でも「杉並区地球温暖化対策実行計画」を策定し取組を進めているところです。このため、本施設においても、ZEB Ready 以上を目標としたエコスクールとしてまいります。

(5) 内装等の木質化整備

近年、カーボンニュートラルの実現に資することなどから、自治体においても国産材を使った木材の利用の促進のため、関連法の基本理念に沿って、公共建築物において率先して木材の利用を図ることが求められています。

また、子ども達の声からも、自然を感じることでできる環境が求められていることから、地産木材を使用した木質化整備を目指します。

(6) 浸水対策

当該地は区ハザードマップにおいて、雨量 153mm/h、総雨量 690mmの豪雨で 0.1m～2.0m 程度の浸水が発生する恐れがあるとされており、昭和 56 年以降浸水被害は発生していませんが、浸水想定や地盤の高さを考慮した校舎の設計を行うとともに、雨水貯留槽等の設置などについて検討することとします。

(7) 地区防災機能

従前、狭小な施設であったことから、震災救援所の機能等である防災倉庫、防火水槽や非常用発電の充実を図ることについて、地域から期待が寄せられており、また、近隣後背地においては木造建物が密集した地区となっていることから、防災機能の充実を検討してまいります。

(8) 歩道状空地の整備

拡幅等行う道路に面する外構については、これを後退させ、概ね幅員 2.5m 程度の歩道状空地を設け、児童の安全に配慮した通学路の整備を行います。

(9) 周辺環境及び景観への配慮

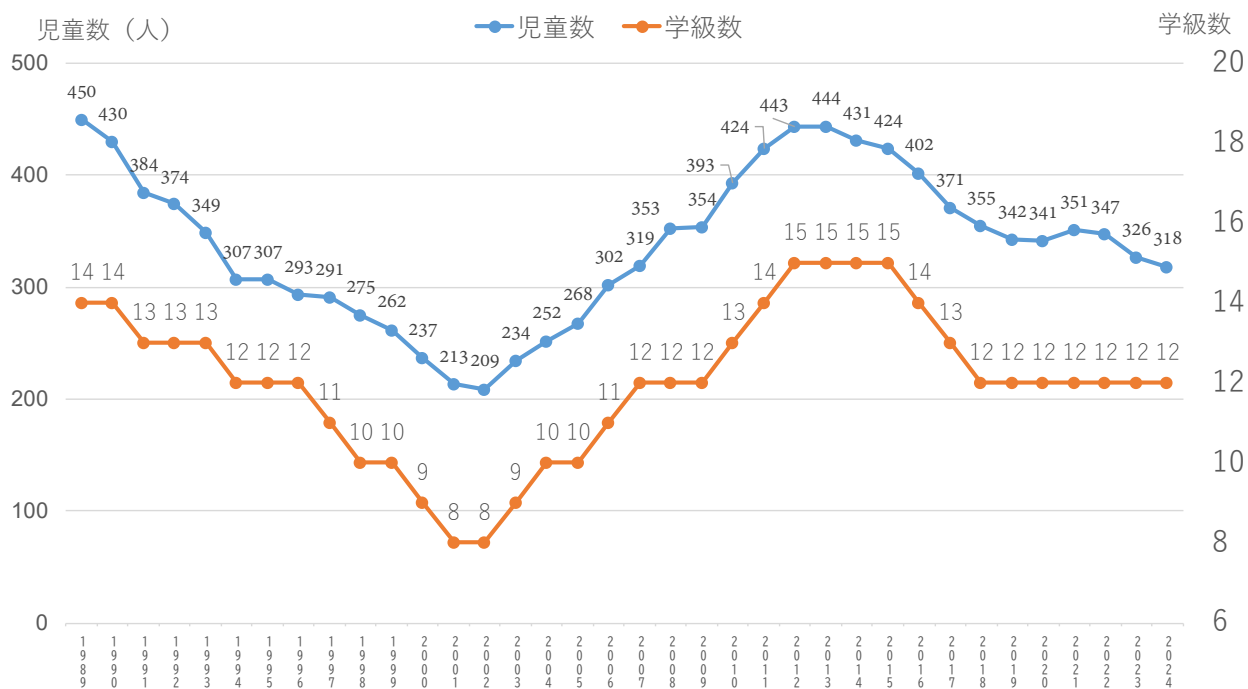
本改築事業は、阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業の一環であるため、周辺地域の街並みや環境、景観等と調和した造りとなるよう配慮します。

(10) 学校プールについて

区では、令和 6 年度中を目処に、学校プールのあり方について検討しています。杉一小においては、当面従来の屋外プールの設置を想定して進めますが、学校プールのあり方検討の結果がまとり次第、設計にも反映していきます。

8. 学校規模について

(1) 児童数・学級数の推移



(2) 今後の児童数・学級数の見込み

<令和6年度推計値>

杉一小推計	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
児童数(人)	327	332	334	339	368
学級数	12	12	12	12	12

(3) 改築における学級数（普通教室数）について

杉一小では、(1)の児童数・学級数の推移のとおり、平成元年から現在までの間は、12～15学級で変動しており、また、(2)の今後の見込みのとおり、当面は増加傾向が予想されています。

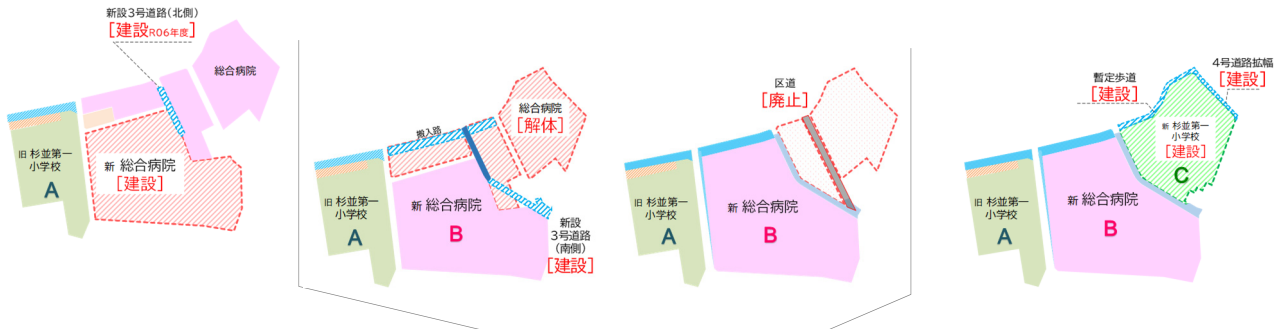
学区には阿佐ヶ谷駅もあり、人口密度が高い地域でもあることから、少子化の流れの中でも児童数が増となる時期があることを想定する必要があります。

このため、過去10年で15学級となったこともあることから、12～15学級での推移を見込み、普通教室は15室を整備するものとします。

(4) 学校標準施設規模

本件では、移転用地の形状が不定形であるとともに、学びのプラットフォームの一層の推進等が求められているため、設計に当たっては、杉並区立学校施設整備計画に定める小学校標準施設規模における標準建物面積を基本に、詳細な内容を精査するものとします。

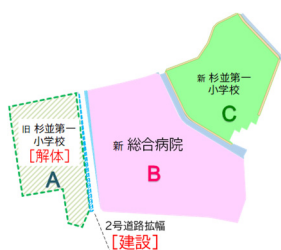
9. 改築のスケジュール（予定）



	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
総合病院整備①	総合病院建設工事	★総合病院開設 旧総合病院解体工事（土壌汚染対策等含む）			
杉一小移転改築②		基本・実施設計		杉一小新校舎建設工事	
杉一小跡地③					解体設計
道路工事④			3号線整備	4号線整備	

	令和11年度	令和12年度
総合病院整備①		
杉一小移転改築②	★杉一小新校舎開設	
杉一小跡地③	杉一小旧校舎解体工事	
道路工事④		2号線整備

※ 移転用地と関連する総合病院移転改築工事、周辺道路整備についても併記



子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小

ビジョン2

災害に強く、防災の要となり、持続可能な自然環境に配慮した施設とする。

目標5

自然災害に備えた堅牢で安全な場を確保し、防災拠点としての機能が十分に発揮される施設とする。

取組

- ・子どもたちと地域の防災教育と意識向上に活かせる施設とする。
- ・発災時に迅速かつ安全に避難できる施設とする。
- ・防災井戸やマンホールトイレを備える等、震災救援所として必要な整備をする。
- ・浸水被害を抑え、防災拠点として、地域との連携が速やかに行える施設とする。
- ・校内に必要な備蓄品を確保する。

目標6

自然に配慮し、周辺地域と調和した、環境にやさしい施設と設備とする。

取組

- ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化やエコスクール等に対応し、環境教育にも配慮した施設とする。
- ・景観と調和し、花と緑を楽しめる空間を整備する。
- ・自然環境との調和に配慮し、武蔵野の屋敷林の面影が残る、自然教育に適した場を創出する。
- ・周辺地域の住環境に配慮した施設とする。

ビジョン1

豊かな教育環境を目指し、子どもたち一人ひとりが輝ける、安全で安心な学び舎をつくる。

目標1

子どもたちが自ら考え判断する力を伸ばし、進んで学び、充実して過ごすことができる学習環境を整備する。

取組

- ・全ての子どもたちが学び合い、可能性を引き出す個別最適、協働的な学びとなる多様な学びのスタイルに適應できる施設とする。
- ・学校図書館や理科室等の特別教室を、子どもたちの好奇心を刺激する造りにする。
- ・ICT教育環境の充実と、円滑な授業運営に対応できる基盤を整備する。

目標2

自他を尊重し、あたたかく人間性豊かで、多様な体験を子どもたちに提供できる教育環境を整備する。

取組

- ・学年を超えた交流ができ、地域の力を活かした杉一小らしい、学びと憩いの空間を設ける。
- ・光、風、緑を感じ、木の温かみが実感できる造りとする。
- ・多文化共生とユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ・命の尊さを伝え、自然観察にも繋がる動植物と触れ合える場を拡充する。
- ・歴史と伝統に相応しい、杉一小の顔となる場を設ける。

目標3

子どもたちが明るく活発に、のびのびと心と体の健康づくりに主体的に取り組めるような活動の場を整備する。

取組

- ・防塵機能を備えた、広く良好な環境の校庭整備を行うなど、子どもたちののびのびと運動し、羽を伸ばせる空間を設ける。
- ・ジュニアバンド等の活発な音楽活動や資機材の運用にも耐えうる、防音に対応した十分なスペースを設ける。
- ・思い切り体を動かして利用できる遊具を充実させる。
- ・更衣室やロッカー等、子どもたちの自立につながる空間や環境を整備する。

目標4

安全に配慮し、高いセキュリティを備え、子どもたちや教職員が安心して快適に過ごせる環境を整備する。

取組

- ・子どもたちを守る防犯カメラ等の安全設備を設け、充実したセキュリティを備える。
- ・諸室の配置や造り、収納スペースの充実、教職員の働きやすさも考慮する。
- ・冷水機や簡易に腰掛けられる場所等を要所に設けるとともに、リラクセスできる環境を整備する。
- ・緑豊かで安心して通れる歩行者空間を整備する。

ビジョン3

世代を超えて多様な区民が出会い、自発的で協働的な関係が広がる学びを創造できる場にする。

目標7

地域と共に歩んできた伝統と特色を継承し、子どもを真ん中に地域とのかかわりを広げ、次代を創る学びに柔軟に対応できる、持続可能な造りとする。

取組

- ・学校を支える地域の関わりと、活動支援の促進を図るため、関係諸室を充実させる。
- ・地域が子どもたちと共に歩き支えるすぎっ子くらぶや放課後の居場所となる場を整備する。
- ・児童数や教育カリキュラム等、将来の変化に対応できる柔軟性を確保する。
- ・文学と文化が息づく阿佐谷のまちと調和した学び舎とする。

目標8

多様な施設・設備を活用し、賑わいのあるまちと共生し、多世代が学び合える施設とする。

取組

- ・子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存できるよう、子どもたちの活動に支障をきたさない諸室配置と動線確保を行う。
- ・駅に近い利便性を活かして、多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設計画とする。
- ・阿佐谷ジャストリート等、イベントで利用できる、地域に開かれた施設とする。

概要版

杉並区立杉並第一小学校改築基本計画



改築基本方針検討のプロセス

改築基本方針(裏面)を策定するに当たっては、学校関係者、地域関係者等で構成する懇談会を立ち上げ検討を行いました。検討に当たっては、あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小)や、子ども達や教職員へのアンケートを行い、寄せられた意見等を参考としました。

杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会

団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名
首都大学東京 名誉教授	深尾 精一	学校支援本部	伴野 博美	阿佐谷地区区会 連合会	田中 昭一	PTA	長谷川 篤男
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授	高口 洋人	学校運営協議会	村上 徹也	震災救援所	近藤 浩	PTA	遠藤 美穂子
阿佐谷北一丁目区会	宇都野 正朔	学校運営協議会	岡田 円治	進文会	細田 宗宏	校長	山口 祐美子
阿佐谷北二丁目区会	佐藤 文夫	学校運営協議会	竹越 不可止	児童クラブ保護者	松嶋 彰	副校長	杉田 英昭
阿佐谷北三丁目区会	徳田 紀美子	学校運営協議会	松尾 純一	PTA	武田 孝彦	副校長	小島 昭博



開催	内容	日程等
1	小学校の特色・概要、改築に至る経緯の説明	4月19日
2	事例見学(桃井第二小学校、杉並第二小学校)	5月28日 6月3日
3	基本方針(たたき台)の検討	6月26日
4	基本方針(最終案)検討と改築規模等の説明	8月5日

あさがやまちづくりセッション(テーマ：杉一小)

令和6年6月9日開催 参加者24人

子どもの声アンケート調査

杉並第一小学校全児童315名を対象に実施

教職員アンケート調査

杉並第一小学校全教職員を対象に実施

地域の声

杉並第一小学校やC街区等の整備について寄せられました

沿革

明治8年に開校し、今年度、創立149周年を迎えた杉並第一小学校は、長い歴史と伝統を持ち、地域の教育力を組織化した学校支援本部との協働による特色ある教育活動が全国的にも高く評価されている学校です。

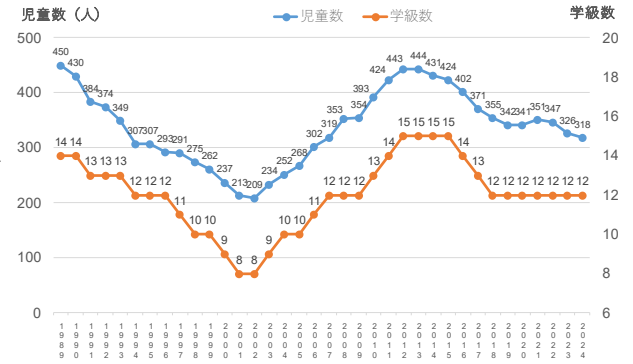
今後、令和11年4月の開校に向け、土地区画整理事業の仮換地指定に沿って、A街区内からC街区内に移転改築工事を行います。

普通教室

児童数・学級数のグラフの推移のとおり、平成元年から現在までの間は、12~15学級で変動しており、また、杉一小推計では、当面は増加傾向が予想されています。

学区には阿佐ヶ谷駅もあり、人口密度が高い地域でもあることから、少子化の流れの中でも児童数が増となる時期があることを想定する必要があります。

このため、過去10年で15学級となったこともあることから、12~15学級での推移を見込み、普通教室は15室を整備するものとします



杉一小推計	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
児童数(人)	327	332	334	339	368
学級数	12	12	12	12	12

みんなで作る 新たなまちづくりの取組



今後のスケジュール(予定)

現在の総合病院棟が解体撤去された後、C街区内で杉並第一小学校の建設工事に着工します。

